【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公開番号】特開2015-225317(P2015-225317A)
【公開日】平成27年12月14日(2015.12.14)
【年通号数】公開・登録公報2015-078
【出願番号】特願2014-111902(P2014-111902)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　9/083　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　9/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　9/087　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　9/08　１０１
Ｇ０３Ｇ　9/08　３７５
Ｇ０３Ｇ　9/08
Ｇ０３Ｇ　9/08　３０２
Ｇ０３Ｇ　9/08　３６５
Ｇ０３Ｇ　9/08　３８４

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月15日(2017.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
結着樹脂、及び着色剤を含有するトナー粒子と、無機微粒子とを含有するトナーであって、
該トナーの熱伝導率が０．２３０Ｗ／（ｍ・Ｋ）以上０．２７０Ｗ／（ｍ・Ｋ）以下であり、
該トナーの流出開始温度Ｔｒ（℃）が８０℃以上１００℃以下であり、
該トナーの軟化温度Ｔｎ（℃）と該流出開始温度Ｔｒとの差が下記式（１）の関係を満たすことを特徴とするトナー。
Ｔｒ－Ｔｎ≦３０　（１）
【請求項２】
該着色剤が磁性体であることを特徴とする請求項１に記載のトナー。
【請求項３】
該トナーの誘電正接ｔａｎδが１．０×１０$^{-2}$以上２．０×１０$^{-2}$以下であることを特徴とする請求項２に記載のトナー。
【請求項４】
該トナーの磁場７９．６ｋＡ／ｍにおける飽和磁化（σｓ）が２０．０Ａｍ^{2}／ｋｇ以上３０．０Ａｍ^{2}／ｋｇ以下であり、残留磁化（σｒ）が１．５Ａｍ^{2}／ｋｇ以上２．０Ａｍ^{2}／ｋｇ以下であることを特徴とする請求項２又は３に記載のトナー。
【請求項５】
該磁性体は、磁性酸化鉄をシラン化合物により表面処理した処理磁性体であることを特徴とする請求項２～４のいずれか一項に記載のトナー。
【請求項６】

該磁性酸化鉄は表面に珪素元素を有しており、該磁性酸化鉄を鉄元素の溶解率が５．００質量％になるまでに溶解したときに溶出する珪素の量が、該磁性酸化鉄を基準として０．０５質量％以上０．５０質量％以下であることを特徴とする請求項５に記載のトナー。
【請求項７】
該処理磁性体をスチレンで洗浄した後の該シラン化合物に由来する残存炭素量が、該磁性酸化鉄を基準として０．４０質量％以上１．２０質量％以下であることを特徴とする請求項５又は６に記載のトナー。
【請求項８】
該シラン化合物は、アルコキシシランに加水分解率が５０％以上となるまで加水分解処理を施したシラン化合物であることを特徴とする請求項５～７のいずれか一項に記載のトナー。
【請求項９】
該トナーが結着樹脂１００質量部に対して１０質量部以上３０質量部以下の離型剤を含有することを特徴とする請求項１～８のいずれか一項に記載のトナー。
【請求項１０】
該離型剤はエステルワックスと炭化水素系ワックスとを含むことを特徴とする請求項９に記載のトナー。
【請求項１１】
該トナーに含有される離型剤の内、該エステルワックスの含有量をＷＡ、該炭化水素系ワックスの含有量をＷＢとすると、ＷＡ／ＷＢが１．０以上であることを特徴とする請求項１０に記載のトナー。
【請求項１２】
該エステルワックスは２官能のエステルワックスであることを特徴とする請求項１０又は１１に記載のトナー。